

平成29年度「市長のまちづくりふれあいトーク」
でいただいたご意見等の対応状況について

【H29.9.19 速川地区】

No.	地区	項目	質問の内容	対応状況	30年度担当部署
1	速川	公共施設	なんでも施設を造ってもいいが、今までを見てみると、中途半端に感じられる。番屋街にしても、通路が狭くてゆっくりと買物が出来ないと言っている人がいる。	今年度から始まる「第8次総合計画後期基本計画」の中でも新文化施設の整備などいくつかの施設整備を盛り込んでいます。 施設整備に当たっては、施設の利用状況や財源等を勘案して施設規模、整備内容などを検討した整備計画に基づいて整備を進めていきます。	企画秘書課 政策推進担当 74-8011
2	速川	道路	高齢者ばかりで市道管理が充分に出来ません。シルバー人材センターから応援がほしい。	市道管理とは、市道の草刈作業のことと思われませんが、どこの地区でも高齢者が多く人手不足となっています。この状況を少しでも補うために、市では普通免許で運転可能な乗用型草刈機の貸し出しを行っていますので、ご利用について、ご検討いただければと思います。 さらに、今年度から、草刈作業を行う自治会に対し、草刈機の借り上げに要する経費の助成制度(1回5万円限度)を創設しましたので、ご検討いただければと思います。	道路課 道路維持担当 30-7070 地域振興課 地域協働担当 74-8013
3	速川	道路	災害復旧の1次対応は早いですが、改修の実施についての連絡がまったくない。(工事の直前になって、業者から該当する家のみ連絡有り)	改修の実施について、工事の予定が決まりましたら連絡を行ってまいります。	道路課 道路維持担当 30-7070
4	速川	職員	職員の時間外勤務について、在庁時間と時間外勤務時間とのズレをなくすことも必要であるが、最も大切なのはその業務が時間外勤務で処理しなければならない業務かどうかを判断することである。	ご指摘のとおりであり、業務が真に必要なものか、また、やり方が適切かどうかを見極めた上で、長時間労働が常態化している部署には職員を増員することや、総人件費の抑制に留意しつつも、必要な人員を総数として確保し、業務量に応じた適正な人員の配置を行うことで解消をはかりたいと考えています。	総務課 人事任用改革担当 74-8031
5	速川	過疎対策	速川地区においても、氷見全体においても、過疎化対策にもっと力を入れてほしいです。	氷見市では、人口減少・少子高齢化が進む中、氷見の暮らしが幸せと感じられるように、地域の課題を地域で考え解決していく組織として、旧町村21地区の地域づくり協議会の設立を促進しています。この協議会が市内全地区で立ち上がり、活発な活動ができるよう支援しています。	地域振興課 地域協働担当 74-8013

No.	地区	項目	質問の内容	対応状況	30年度担当部署
6	速川	学校統合	学校統合に関しては、地域のトップの意見だけでなくPTAの意見や未就学児の保護者の意見にも耳を傾けてほしい。かつ、地域にとってマイナスとならないよう配慮いただきたい。	地域にとってもマイナスとならないよう、保護者や未就学児の保護者とも協議して参ります。	教育総務課 総務企画担当 74-8211
7	速川	臼ヶ峰	臼が峰広場の左側の土砂崩れの現場補修を、よろしく願いいたします。	県の自然保護課と協議し、危険性を考慮のうえ、順次対応してまいります。	商工観光課 観光戦略担当 74-8106
8	速川	公共交通	平成30年4月から路線バスが廃止され、NPOバスでの対応には期間が余り無い。何とか繰り下げ要請願いたい。	現在、久目、速川、明和、上庄の自治振興委員の皆様と、上庄谷地域で一体となった組織により、バスを走らせる方向で、話し合いを実施しており、協議中であります。	地域振興課 公共交通担当 30-2949
9	速川	庁舎	先日、初めて市役所に入った。何かごちゃごちゃと課が並んでおり、感じが悪かった。また、以前は待っている場所に椅子やテレビ等があり座って待てたが、今はそれがなかったように感じるが。	1階フロアに4つの課があるため、ごちゃごちゃとした印象を受けられたのかと思います。窓口の案内板を色分けすることで来庁者の方が、担当課を探しやすいようにしております。 また、移転当初より、待合用に椅子等をご用意しております。どうぞご利用ください。	財務課 財産管理担当 74-8035
10	速川	ICT	タブレットPCの全戸配布等について。	タブレットPCの全戸配布の件につきましては、活用方法や費用等で詳細な調査・検討が必要であり、現時点では支給することは難しいと考えています。	広報情報課 情報化推進担当 74-8012
11	速川	公共交通	加越能バス廃止の説明がおかしいと思う。NPOは短期？もっと長期スパンでの市全体計画があると思う。	地域公共交通方針に基き、アンケート調査等により現状把握や将来予測に努め、持続可能な交通施策を進めてまいります。	地域振興課 公共交通担当 30-2949
12	速川	若者対策	夢、チャレンジがもっと見えると若者は希望を持てるのではないか。	今年度から始まる「第8次氷見市総合計画後期基本計画」の中で、結婚・出産の希望をかなえる環境づくりを新たな施策として追加するとともに、産学官の連携等による新産業創出と創業支援、若者・女性が働き続けられる環境づくりを進めるなど、若者が夢や希望を持てるまちづくりを推進していきます。	企画秘書課 政策推進担当 74-8011

No.	地区	項目	質問の内容	対応状況	30年度担当部署
13	速川	若者対策	氷見市全体が活気のある街になることを願います。若い人たちが氷見市に住みたいと思える街づくりもしてほしいです。	今年度、中心市街地の賑わいを創出するため中央町商店街では「うみのアパートマルシェ」のほか、朝日本町にある歴史的な土蔵倉庫を活用して「みなとがわのみの市」を開催しております。市内外から20代から30代の方に多数お越しいただいており、回数を重ねることにイベントの知名度も向上してきております。今後も引き続きイベントを開催し、まちに賑わいを創ってまいります。	商工観光課 商工企業誘致担当 74-8105
14	速川	教育	高齢化、少子化、速川地区でも子供が少なく、今年度は全学年複式となっております。複式の場合、補助の先生はつかないのでしょうか。市長さんの話の中で時代に合った教育内容を、との話でしたが、速川は子供が少ないから仕方のないことなのでしょうか。	2つの学年の児童数が15人以下の場合や、1年生を含む学級の児童数が8人以下の場合、複式学級となります。複式学級では、担任は2つの学年を同時に授業しますが、教師が教える場面と児童が自分たちで考える場面を上手く組み合わせる授業を進めています。 このような複式授業では、児童にとって不利になることが多いように思われますが、主体的に学習に取り組む態度や仲間と協力して課題を解決する力などが育成されやすいという利点もあります。 教育委員会では、複式授業の質をより高めるために、補助員として、教員免許をもった「学習サポーター」を配置しており、今後も継続・充実に取り組んでまいります。	学校教育課 学務担当 74-8213
15	速川	カーブミラー	(早借地区) 市道新保早借線、早借13号線等の拡幅及びカーブミラーの増設について 新保のリサイクルプラザから上庄川沿いに県道氷見志雄線に繋ぐ市道新保早借線、早借13号線等は地区住民はもとより、近隣住民も通勤、病院、買い物等、市街地へ行く際に利用しております。本線は道幅が狭く、時々大型車も通ります。大型車とすれ違う際には徐行運転している状況です。ついては、道幅の拡幅できる所から順次拡幅をお願いします。併せて新保境のカーブには、カーブミラーが1基しかなく対向車が来るのか確認しづらいことから、カーブミラーの増設を要望します。	カーブミラーの設置については、市内各地より多数の要望が提出されており、その中から緊急度、重要度の高いものから設置を行っています。 拡幅改良についても、各地区から多くのご要望を受けており、緊急車両や生活バス路線の通行に支障をきたす箇所や、狹隘で見通しの悪い路線などを最優先に整備を進めています。 必要とされる箇所でのカーブミラー設置と同時に、交通実情を把握し、改良の必要性について検討していきます。	道路課 道路維持担当 30-7070

No.	地区	項目	質問の内容	対応状況	30年度担当部署
16	速川	災害復旧	<p>(早借地区) 平成29年6月30日から7月1日にかけて24時間雨量が200ミリを超える豪雨に見舞われ、農道の路肩陥没や水田法面の崩壊等が発生した。 市の現地調査により、農道の路肩陥没と水田法面の崩壊箇所は災害対象となる旨、説明を頂きました。その他の被災箇所は対象とならないとのこと。このため、復旧には自治会や個人負担が重くなります。 つきましては、災害対象とならない箇所も、市独自の補助制度や見舞金支給など、復旧経費の幾らかでも支援いただければ助かります。</p>	<p>災害復旧事業の対象となる箇所については、「平成29年災上島農地(外1箇所)復旧工事」として完了しております。 なお、災害復旧事業の対象とならない箇所については、県単若しくは市単土地改良事業等をご検討していただきたいと考えております。</p>	<p>ふるさと整備課 農林業基盤整備担当 30-7011</p>
17	速川	公園	<p>(早借地区) 公園維持管理経費の支援について 舟山公園は早借地区はもとより、近隣住民の憩いの場として市の支援をいただき公園整備を順次実施しておりますが、上下水道施設(トイレ、飲水、洗い場)が未整備です。今後、当地区でも人口減少、戸数減少が見込まれる中、1集落で上下水道施設の設置、設置後の維持管理経費を自治会で負担してやっていけるのか、着手に二の足を踏んでいる次第です。</p>	<p>舟山公園は、速川地区住民の憩いの場として、クリエイティブ・マイ・タウン事業を活用して整備されました。この公園は、地域の方々の思いが込められた素晴らしい施設であり、その眺望は地域の新たな魅力となっています。 これまで、地域で整備された公園の維持管理費は、全て地域で賄われており、市の支援制度はありませんが、地域活力施設整備支援事業もございますので、地域振興課までご相談いただければと思います。</p>	<p>地域振興課 地域協働担当 74-8013</p>

No.	地区	項目	質問の内容	対応状況	30年度担当部署
18	速川	新文化施設	氷見市民会館に代わる文化施設の今後の計画について、その後の進捗状況を知りたい。	<p>新文化施設につきましては、昨年12月の第3回市街地グランドデザイン検討委員会で、旧市民病院跡地を芸術文化の発信と市民の交流・創造の拠点として「(仮称)ひみ文化交流プラザ」の建設に加え、活力と賑わいを生み出す民間事業者による提案施設の整備が提案されました。</p> <p>これを受け、芸術文化の発信と市民の交流・創造の拠点としてのあるべき施設の機能、規模等について検討を進めております。</p> <p>ホール客席規模の比較検討では、500席規模では、多くの催し物に利用できますが、各種の大規模な大会では800席規模でないと対応できないと考えられます。</p> <p>一方で、その整備費は、500席規模で27億円から31億5千万円、800席規模では30億6千万円から35億7千万円、維持管理の負担が500席規模では5千4百万円程度に対し、800席規模では8千7百万円程度となると見込まれます。</p> <p>このため、国の補助事業と有利な起債制度の活用を組み合わせ、市の負担を低く抑えられるよう検討するとともに、運営費についても、維持管理費を極力低減できる整備手法、設備の導入を検討します。</p> <p>整備にあたり、施設整備の民間発注や民間のノウハウを活かした維持管理、魅力ある民間施設の立地など公民が連携した手法の導入により、建設費や維持管理費を低減し、固定資産税、地代などの収入増を図るために、民間事業者からも提案を頂くなど、よりよい事業手法について検討します。</p> <p>新文化施設の整備は、その利用内容や将来の財政負担等を総合的に考慮して、具体的な計画を策定し、できる限り早期の整備を目指します。</p>	新文化施設建設室 74-8215

No.	地区	項目	質問の内容	対応状況	30年度担当部署
19	速川	公共跡地	市民会館をはじめ、旧朝日丘小学校跡地、旧市役所跡地等についても今後の計画や活用法が気にかかります。市としての方針があれば聞かせていただきたい。	旧市役所跡地には「氷見まんが広場(仮称)」を整備します。藤子先生の生家である光禅寺や商店街との近接性を活かし観光客をまちなかに誘い込むまんがをテーマとした回遊拠点として整備します。 市民会館敷地には「ひみ発見館(仮称)」を整備し、氷見出身の偉人や祭礼行事などを知るコーナーやこども図書室等を併せて整備する計画としています。 旧朝日丘小学校跡地については、「ひみ子育ての杜(仮称)」として、こども園やふれあい交流園などを整備する計画としています。既存校舎や体育館の利用者、こども園の来訪者が使える駐車場の整備も併せて計画しています。	都市計画課 都市政策担当 74-8078 公園管理担当 74-8076
20	速川	陸上競技場	市体陸上や小学校連合運動会等は、高岡市の城光寺城上競技場で何年も行われている。今後、市営の陸上競技場の建設の予定はないのか。市民体育大会が地元開催で行われるようになると良いと思う。	運動公園の陸上競技場は陸上競技に適しておらず、陸上競技場を使用しての大会は、城光寺陸上競技場を借用していただいております。 市内で陸上競技場ができればいいのですが、建設するには莫大な費用がかかり、年に数回の大会を開催するには申し訳ありませんが、城光寺陸上競技場などを利用していただきたいと思っております。	スポーツ振興課 74-8446
21	速川	教育	速川小学校、久目小学校、明和小学校の統合について、市としてはどのような統合を考えているのか知りたい。また、西部中学校の将来像も同時に検討する必要もあると思われる。速川地区ではこれまで、小中一貫校を西部中学校校区で設立してほしいという意見を市当局に要望してきていますが、今後の予定を教えてください。	平成29年度に小中学校統合審議会を開催し、3校の在り方を議論しました。平成30年1月に今後の方向性について、審議会から答申をいただき、この答申に基づき地元の皆様と協議しているところであります。	教育総務課 総務企画担当 74-8211
22	速川	道路	(日名田地区) 市道の補修工事について、市道のアスファルト路肩が崩れ、側溝に土砂が崩れる状況の箇所がある。その後の工事の着工の動きが見られない。なるべく早く補修をしてもらいたい。	平成29年10月に実施予定でしたが、業者の都合が付かず未実施となっております。年度内に補修完了の予定であります。	道路課 道路維持担当 30-7070

No.	地区	項目	質問の内容	対応状況	30年度担当部署
23	速川	公共施設	(日名田地区) 日名田公民館横の車庫の屋根の葺き替えについて、車庫の屋根の錆がひどく、雨漏りが心配な状況である。	建物は市所有であります。使用実態は地元にありますので、地域活力施設整備支援事業(窓口:地域振興課)をご活用いただければと思います。 また、この建物は除雪拠点施設として整備されたものであります。当初の目的の役目を終えていることから、今後の施設のあり方について、検討してまいります。	道路課 道路維持担当 30-7070
24	速川	道路	能越道氷見南インターまでの道路の整備について、高岡方面に勤務する速川地区民にとって、能越道を利用するには、氷見インターを利用するより氷見南インターの方が時間的に早く利用しやすいと思われる。 しかし、早借～粟原間が急カーブで坂道の勾配がきつく、冬場は特に危険な状況にある。速川地区から氷見南インターまでの道路の整備をお願いします。 また、昨年の防災訓練で避難経路が鉾根地区の道路を通して、高岡の竹平体育館へ避難をした。その時、災害時に通る道路としては危険であると感じた。避難道路としても整備をお願いしたい。	県道氷見志雄線の早借～粟原間において、急カーブや勾配がきつい箇所があり、特に冬場などに危険を感じる利用者が多いことは、市といたしましても認識しています。利用者の安全確保はもとより、能越道氷見南インターの利活用の観点からも、アクセス道路の整備は重要な課題でありますので、道路管理者である県に対し、市から働きかけてまいりたいと考えています。	ふるさと整備課 事業調整用地担当 74-8091 道路課 道路整備担当 74-8074
25	速川	道路	能越道利用にあたり、速川地区民として不便を感じる。粟原地区へのアクセス、または氷見南インターまでの道路改良を希望します。速川地区から高岡方面への通勤者としては、早借～粟原間の冬場の通行が危険であるため道路整備をお願いしたい。		
26	速川	公共交通	加越能バスの三尾線・論田線の廃止問題の今後の取組について、その後はどのようになるのか。速川地区の交通手段はどうなるのか。	三尾線・論田線につきましては、本年3月末をもって廃止となりましたが、現在、上庄谷地域がひとつとなった組織によりNPOバスを運行する方向で、久目・速川・明和・上庄地区の皆様と協議中であります。	地域振興課 公共交通担当 30-2949

No.	地区	項目	質問の内容	対応状況	30年度担当部署
27	速川	過疎対策	小学校の統合やバスの廃止に伴い、過疎化や人口減がさらに進むことが予想される。そのような状況について、市としてはどのような考えを持っておられるか。人口減少は速川地区に限らず、氷見市全体の課題であると思う。	今年度から始まる第8次氷見市総合計画後期基本計画の中において、旧小学校区の21地区すべてで地域の人々の暮らしを守っていくことができるように、地域づくり協議会の設立を支援し、その活動に必要な拠点づくりや人材育成のほか、公共交通施策などを盛り込み、「人口が減少しても幸せに暮らせるまちづくり」に取り組んでいくこととしています。	地域振興課 地域協働担当 74-8013
28	速川	防災	平成29年の大雨で、氷見市は土砂災害等被害が大きかったですが、今後災害に強いまちづくりの為にどのように取り組まれるのか。	これまでどおり、災害を未然に防止する対策を推進するとともに、河川氾濫や土砂災害が発生した場合においても、被害を軽減するためのハード対策や自主防災組織づくりなどのソフト面での取り組みを積極的に進めていきます。	地域防災課 74-8021
29	速川	防災	全国的にも、氷見市においても突然の豪雨に伴う土砂災害や水害などが多く発生する状況が見られる。市として今後の防災対策を教えてください。		ふるさと整備課 治水治山担当 30-7071
30	速川	過疎対策	氷見市(特に速川地区のような、市街地から離れた地区)では、若者の都市部への流出が加速しておりますが、何か対策を考えているのでしょうか。	平成27年10月に策定した「氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、各種事業を推進するとともに、昨年6月に発表した「住みたい街」、「働きたい街」、「育てたい街」の3つを基本理念とした『氷見元気プロジェクト』を実施に移し、1歳以上の第2子の保育料の無料化や「家庭で子育て応援金」の創設など、子育て家庭の負担軽減を図るとともに、文化、スポーツ施設の整備などを進め、若者の定住施策に取り組んでおります。 さらに、今年度から始まる第8次氷見市総合計画後期基本計画の中で、必要な施策を着実に取り組んでいきます。	地域振興課 地域協働担当 74-8013

No.	地区	項目	質問の内容	対応状況	30年度担当部署
31	速川	道路	今後の市道の管理について、現在、各地区では、市道や県道の草刈りは地元の住民が道路愛護デーの機会等で行ってきた。自分の地区では人足を出して管理してきた。今後ますます高齢化、過疎化が進む地区では、草刈りもできない状況である。市として道路の管理を今後どのように考えられているか。	市でも全ての市道の草刈を行うことは不可能であり、今までどおり地元の協力を得ながら管理を行っていきたいと考えています。昨年9月に、地域への貸し出し用の乗用草刈機を新たに1台追加し、2台体制としていきますので、有効に活用していただき、少しでも労力の軽減につながればと考えています。 さらに、今年度から、草刈作業を行う自治会に対し、草刈機の借り上げに要する経費の助成制度(1回5万円限度)を創設しましたので、ご検討いただければと思います。	道路課 道路維持担当 30-7070 地域振興課 地域協働担当 74-8013
32	速川	公共交通	路線バス廃止後の住民の移動手段はどうなるのか。また、その運用はどのようになるのか。	現在、久目、速川、明和、上庄の自治振興委員の皆様と、上庄谷地域で一体となった組織により、バスを走らせる方向で、話し合いを実施しており、協議中であります。	地域振興課 公共交通担当 30-2949
33	速川	鳥獣被害対策	害獣(イノシシ・シカ等)の取り扱いについて	野生動物から農作物を守るため、以下のような対策があります。 ①集落環境管理 ・柿などの放任果樹、収穫残渣、生ごみなどエサとなるものの除去 ・水田の秋起こしによる二番穂の除去 ・竹林の整備や藪の草刈りにより身を隠せる場所の除去 ②被害防除 ・農地周辺に電気柵、ワイヤーメッシュ柵などを侵入防止柵の設置 ③加害固体の捕獲 特に、①集落環境管理や②被害防除の対策が重要であり、これらを地域ぐるみで取り組まれるのがより効果的です。	農林畜産課 いのしし等対策担当 30-7088
34	速川	学校統合	小・中学校の統合の将来像について	小中学校の再編については、小学校においては複式学級を解消することを、中学校においては全ての教科の教員を配置することや、部活動・生徒会活動などの集団活動を活性化することにより教育効果の向上を図ることを目的としています。今後地元の皆様と十分協議しながら進めて参りたいと考えております。	教育総務課 総務企画担当 74-8211

No.	地区	項目	質問の内容	対応状況	30年度担当部署
35	速川	地域おこし協力隊	地域おこし協力隊について、協力隊員に活躍の場の確保や協力隊員の起業支援を。また、今後の派遣予定の協力隊員について。	今年度の地域おこし協力隊募集に際して、市では、これまでの隊員の受入れの有無や隊員に期待する活動等、3年後の展望、組織としての協力体制の4つを評価し、受入れ地域や団体の選考をしました。 昨年度、東地区や十二町地区、総合型地域スポーツクラブふれんず等5つを受入れ地域・団体として5名を募集しました。 現時点で協力隊員は、東地区1名の採用となっておりますが、今後もニーズを踏まえ、募集を行っていく予定であります。	地域振興課 地域協働担当 74-8013
36	速川	ふるさと納税	ふるさと納税について、制度がどう変わったのか。	制度に変更はありません。ただし平成29年度、総務省から自治体に対して、金銭類似性の高い返礼品の自粛と、寄附金額に対する返礼品の調達価格を30%以内にするようにとの通知が出されました。本市におきましても、この通知に基づき、返礼品について30%以内とするなど見直しを行いました。	商工観光課 商工企業誘致担当 74-8105
37	速川	公共交通	加越能の路線バスの廃線について ・高齢者の生活支援(買物、病院通院等)のため廃線後の足の早期確保 ・デマンドバス、NPOバス、コミュニティバスなど5年、10年後も継続可能な仕組み等	現在、上庄谷地域がひとつとなった組織によりNPOバスを運行する方向で、久目・速川・明和・上庄地区の皆様と協議中であります。 今後、社会環境の変化等を見据え、地域の公共交通について、地域の皆様とともに考えてまいります。	地域振興課 公共交通担当 30-2949
38	速川	道路	小久米～日名田間県道氷見志雄線の道路拡張について	県道氷見志雄線の小久米～日名田間の改良については、氷見土木事務所で事業着手に向けて検討していると伺っております。	ふるさと整備課 事業調整用地担当 74-8091 道路課 道路整備担当 74-8074
39	速川	臼が峰	臼が峰、歴史の道等の道路状況について	臼が峰の頂上付近の道路下の法面の崩落状況を確認しました。今すぐには必要ないものの、いずれ対策が必要であるとの認識を、自治会の皆様と共有させていただきました。	教育総務課 生涯学習担当 74-8211

No.	地区	項目	質問の内容	対応状況	30年度担当部署
40	速川	鳥獣被害対策	早借地区の神社の周りをイノシシが法面を荒らしているが、田んぼや畑ではないから補助金の交付対象にはならないと言われた。 宮ということで、文化財の担当にも相談したが補助対象にならなかった。法面の補修はしているようだが、荒らされる前の対策をしていただいた方が、お金もかからないのではないかと。対策を考えてほしい。	農作物被害を未然に防ぐ一つの方法として、野生動物を農地周辺に寄せ付けないよう身を隠せる藪の草刈りなどの集落環境管理を地域ぐるみで取り組むことが重要であり、これらの活動を実施していただける集落には助成をしております。	農林畜産課 農業畜産・いのしし等担当 74-8086
41	速川	地域活性化	臼ヶ峰の花壇も整備した。百合と音楽の鑑賞会は、平成30年度で20周年を迎える。記念イベントを考えており、地域創生という観点で支援をしていただけたら。	特定非営利活動法人速川地域支援センターが実施する「百合と音楽の鑑賞会PART20」については、今年度、おらっっちゃ創生支援事業の価値提案型事業として補助採択させていただいております。 今後とも、本補助金を活用され、臼ヶ峰が百合の聖地となるよう、百合の増殖に努めていただければと思います。	地域振興課 地域協働担当 74-8013
42	速川	公共交通	路線バスは、土曜・日曜が平成29年10月から廃止になると以前聞いたが、今どのような話になっているか。	現在、上庄谷地域(速川地区、久目地区、明和地区、上庄地区)が一つとなった組織をつくり、地域内で3路線のNPOバス運行へ向けて協議中です。	地域振興課 公共交通担当 30-2949
43	速川	公共交通	バス路線の廃止について。高齢者の足の確保のため必要。市内のNPOバスが地元が経営主体になっているが、人口減少が進む今の時代、5年後10年後も続けて行くことを考えると難しいのではないかと。市からの新しい提案がほしい。		
44	速川	交通	将来、20年後30年後に向けてチャレンジしていることはあるのか。他の所から人を呼び込むなどの、チャレンジ精神や大きな夢が氷見市にはないのか。計画ばかりだけでなくチャレンジしている姿勢が見えない。 自動車の自動運転システムが開発されているが、ここは山間部で雪も降るので、自動車の自動運転のモデルコースに立候補することはできないか。	自動車の自動運転システムについては、現在、研究が進められており、2030年頃開始予定と言われております。 本市としては、今年度、新交通システム調査検討事業費を計上しており、今後、街中から番屋街や、市民病院、市役所への新交通システムを検討しております。その中で、必要に応じて、自動運転システムについても、取り入れられるかどうかも含めて検討していきたいと考えております。	地域振興課 公共交通担当 30-2949

No.	地区	項目	質問の内容	対応状況	30年度担当部署
45	速川	東京五輪	<p>東京オリンピックも開催されるが、各国のナショナルチームの合宿地に立候補する予定はないのか。</p>	<p>ナショナルチームの合宿地に立候補するには、東京オリンピック・パラリンピック組織委員会の候補地ガイドへの掲載が効果的ですが、ハンドボールを例にすると、掲載条件として、施設に人工マット「タラフレックス」の敷設やトレーニングルームの併設などが必要となり、大きな費用負担を伴います。</p> <p>候補地ガイドを利用しない場合は、各チームと独自に交渉することになりますが、本市は交通の利便性や既存の都市交流などの地理的、歴史的な優位性が乏しい状況です。</p> <p>しかしながら、本市におけるハンドボールの歴史や市民の皆様のかかわりなどに鑑み、ヨーロッパを拠点とするスポーツメーカーや、平成28年度に合宿をいただいたデンマークの強豪クラブチーム、SKオーフスとのつながり、また、デンマークでプレーをしておられた本市出身の選手などの協力をいただきながら誘致活動を進めていきます。</p>	<p>スポーツ振興課 74-8446</p>
46	速川	健康	<p>住民健診は7月から9月だが、自営の主婦にとって、7月は暑くて大変、8月はお盆で忙しい、9月は稲刈りと受けるのが大変で、もっと長期間住民健診を受けることができないものか。</p>	<p>住民健診については、主に7月～9月の間に集団健診と医療機関での個別健診のどちらかを選択して受診者の都合の良い日に受診していただいております。また、健診の種類によって、7月から年度末まで実施するなど、受診しやすい体制となるようにしております。</p> <p>健診の日程は、医師会、市民病院、健診業者等と協議を図り決定しております。がん検診は、検診後も複数の医師による読影委員会でのダブルチェックなど行なわなければならないことが多くあります。そのため、各機関の負担や予算が増加し調整が必要となり、日程を延長することは、容易なことではありません。どうかご理解をお願いいたします。</p>	<p>健康課 成人保健担当 74-8414</p>

No.	地区	項目	質問の内容	対応状況	30年度担当部署
47	速川	職員採用	行政改革について、どのように行っているのか。前々市長は15年の間に1,200人から400人に職員数が減った。現在の職員数は。	職員数については、正規職員を対象に定員管理を行い、減員に努めてきました。その一方で、必要な行政サービスを提供するため、非正規職員を増員してきました。 職員数に占める非正規職員の割合が増える傾向にある中、非正規職員も含めた、より適正な人員管理を行う事が必要となっています。このような中、新たに平成30年度からスタートする「氷見市行政改革プラン」においては、平成30年4月1日現在の542人の体制を期間中の平成33年4月1日まで維持することとしています。	総務課 人事任用改革担当 74-8031
48	速川	財政	一昔前までは、財政力の弱さを危惧されていたが、堂故市長が統治して実質公債費比率が改善したと思う。現在の実質公債費比率は、どうなっているか。	氷見市の実質公債費比率は、借入金の償還のピークが過ぎたことから、近年は改善しており、平成28年度は11.5%でした。	財務課 財政担当 74-8015
49	速川	新文化施設	新文化施設の建設を検討しているようだが、市の財政に相当な影響が出るのかどうか。	新文化施設につきましては、旧市民病院跡地において公民連携手法により整備することとしております。ホールの客席は800席規模とし芸術文化のみならず、親子の遊び場、大人の学び場、多様な市民の交流など複数の機能を併せ持った公共施設と民間事業者からの提案事業を加えた複合施設として民間の持つノウハウを活用した施設整備を図ることとしております。 整備費につきましては国の交付金や交付税措置のある過疎債などを活用することで市の負担を抑制し、維持管理についても省エネ設備や民間ノウハウの導入によるランニングコスト削減に努めることで、中長期的な視点で市の財政への影響を抑制してまいります。	新文化施設建設室 74-8215